

平成25年度

田原本町教育委員会活動点検評価報告書

(平成24年度実施事業分)

平成26年2月

田原本町教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第27条第1項の規定に基づき、平成24年度に田原本町教育委員会が実施した教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価の結果について報告します。

平成26年2月20日

田原本町教育委員会

目 次

○はじめに	1
○教育委員会の運営・活動状況	2
○点検・評価項目	
・ 幼児教育の推進	3
・ 小・中学校教育の推進	5
・ 特別支援教育の推進	7
・ 学習体制の充実	9
・ 生涯学習環境の充実	11
・ 図書館事業の充実	13
・ 文化活動の促進	15
・ スポーツに親しむ環境の整備	17
・ スポーツ・レクリエーション活動の普及・啓発	19
・ 文化財保護事業	21
・ 唐古・鍵考古学ミュージアム運営事業	23

I はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、平成20年4月から、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。

この報告書は、同法の規定に基づき、田原本町教育委員会が行った点検・評価の結果をまとめたものです。

II 点検・評価の基本方針

1 点検・評価の目的

法改正を受け、町教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行状況を自ら点検・評価し、その結果を議会に報告するとともに、住民に公表することといたしました。

この点検・評価は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民に対する説明責任を果たしていくことを目的としています。

2 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、「田原本町第3次総合計画」第2章「人が生きいきと輝くまなびのまちづくり」の教育関連施策を点検・評価の対象としました。

点検・評価の対象年度は、平成24年度です。

- (1) 田原本町教育委員会の運営・活動状況
- (2) 「田原本町第3次総合計画」に基づく施策体系ごとの点検・評価(11施策)

3 点検・評価の方法

「田原本町第3次総合計画」に基づく施策体系ごとに、進捗状況の参考となる指標及び実施事務事業の実績を掲載しています。

上記の指標及び実施事務事業の実績を基に、教育委員会で点検・評価を行います。評価にあたっては、客観性を確保するために、外部の学識経験を有する方から施策や事業についてご意見をいただいております。

【点検評価委員】

(敬称略 五十音順)

役 職	氏 名	備 考
委 員	里 見 大 聞	学識経験者(教職経験者)
委 員	東 口 豪	学識経験者(行政経験者)

田原本町教育委員会の運営・活動状況

1 教育委員

(平成25年 3月31日現在)

職名	氏名	職業	就任年月日	任期満了年月日
委員長	森 章浩	団体役員	H21.12.24	H25.12.23
委員	後藤田 和子	無職	H21. 3. 2	H27. 9. 21
委員	田部井紀美子	無職	H23.12.22	H27.12.21
委員	宮本 安男	会社員	H24.12.23	H28.12.22
委員(教育長)	片倉 照彦	公務員	H22. 9. 8	H29. 3. 31

2 教育委員会議の開催状況

・教育委員会定例会……10回

3 教育委員会議の審議状況

・報告事項……22件

・審議事項……13件

4 教育委員の活動状況

・定期学校訪問実施(年1回)……幼稚園5園・小学校5校・中学校2校

・幼稚園・小学校・中学校行事への参加……入園式・入学式・運動会・卒園式・
卒業式及び各種研究会等

・各種研修会への参加……県外研修(宮城県方面)・近畿市町村教育委員研修大会(奈良市)・人権教育各種研究大会・青少年健全育成
各種研究大会等

・各種行事への参加……成人式等

施策評価シート(対象:H24年度実施施策)

施策名	幼児教育の推進			総合計画位置づけ	2-1-1
部名	教育委員会	主担当課名	教育総務課	担当課名	-

1. 施策概要

めざす成果目的	幼児の心身の健全な発育を促すため、幼稚園・保育園・家庭が連携し幼児教育の充実を図る。また、保護者の経済的負担を軽減することにより、多くの幼児が充実した幼児教育を受けることができ、保護者も経済的な不安を感じないで通園させることができる。
施策概要	幼児教育環境の整備。就学前教育の推進。安心・安全な幼児教育の創出。幼児教育の支援。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	後期基本計画目標 H28年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
公立・私立幼稚園就園率	%	60	60	60	60	60
(説明) 対象年齢者に対する公立・私立幼稚園の園児在籍率		57				
保育園・小学校との連携回数	回	38	43	48	53	58
(説明) 合同運動会や音楽鑑賞会等交流・連携回数		29				
(説明)						

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H24年度)

事務事業名	担当課名	H24年度事業費(決算額 単位:千円)	必要性の点検	目標達成状況の点検	実施内容方法の点検
幼稚園運営事業(一部)	教育総務課	217,346	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
幼稚園施設管理整備事業	教育総務課	5,707	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
幼稚園教育振興事業	教育総務課	2,295	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		225,348			

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 最終目標(H26)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている <input checked="" type="radio"/> B 最終目標(H26)達成に向け、順調に成果があがっている <input type="radio"/> C このままでは、最終目標(H26)達成が難しい (説明) 公立幼稚園の就園率は51パーセント。公立・私立をあわせた就園率は57パーセントと目標値をやや下回りましたが、保護者からのニーズが高い3歳児保育も定着してきており、一定の成果があがっていると考えています。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input checked="" type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある <input type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある (説明) 今後も、子育てに悩む家庭が増加し、幼稚園の果たすべき役割が大きくなると予想される。いっそう開かれた幼稚園づくりを推進し、家庭の要望や地域の実態に応じた積極的な子育て支援が必要と考えています。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) 安心・安全な幼児教育環境の創出には幼稚園施設の老朽化の解消が必要と考えています。

4. 次年度の展開方針(部としての判断)

施策の方向性	〔複数選択可〕 <input type="checkbox"/> 重点化して推進 <input checked="" type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()				
	(説明) 小学校就学前教育としての位置づけのもと、幼児一人ひとりの個性を伸ばし、個々の発達段階に応じた教育を充実させるため、地域の自然や歴史・文化などとのふれあいを通じた幼児教育を推進します。				
施策を構成する主要な事務事業の方向性	事務事業名	H24年度 決算 (単位:千円)	H25年度 予算 (単位:千円)	優先性	H26に向けた 経営資源(事業費)の 方向性
	幼稚園運営事業(一部)	217,346	240,197	3 普通	現状のまま
	幼稚園施設管理整備事業	5,707	13,424	5 最優先	拡大
	幼稚園教育振興事業	2,295	3,780	3 普通	現状のまま
	[新規]				
	計	225,348	257,401		
内部評価のコメント	各園においては、幼稚園教育充実に向けて様々な施策・事業を実施し、概ね順調に園運営をされていると評価します。今後も幼稚園教育要領に基づき保護者に保育園と幼稚園の違いを理解していただき就園率の向上に努められたい。				
外部評価委員のコメント	幼児教育を推進させるためには、就学前の幼児という総合的な考え方から幼稚園だけでなく、保育園に通う幼児に関する必要があると考えます。情報交換、情報共有など幼稚園・保育園双方で連携し、幼児教育が推進されることを望みます。				

施策評価シート(対象:H24年度実施施策)

施策名	小・中学校教育の推進	総合計画位置づけ	2-1-2
部名	教育委員会	主担当課名	教育総務課
		担当課名	-

1. 施策概要

めざす成果目的	児童・生徒及び保護者にとっても、安全で安心できる学校に通学することにより、確かな学力の定着を図ると共に、体力を向上させ、心豊かな人間性を育む。
施策概要	教育環境の整備。職業観や人生観の醸成。教育体制の確立。安心・安全な教育環境の整備。関係機関との連携。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	後期基本計画目標 H28年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
学校施設の耐震化率 強度を確保している学校施設 (小学校5校・中学校2校)の割合	%	79	88	95	100	100
		79				
小学校不登校児童数 1年間に連続又は断続して30日以上欠席した児童数(学校基本調査)	人	6	6	5	4	4
		7				
中学校不登校生徒数 1年間に連続又は断続して30日以上欠席した生徒数(学校基本調査)	人	18	16	14	12	11
		25				

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H24年度)

事務事業名	担当課名	H24年度事業費 (決算額)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
小学校運営事業	教育総務課	89,131	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
小学校施設管理整備事業	教育総務課	61,336	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
学校給食事業	教育総務課	61,558	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
小学校教育振興事業(一部)	教育総務課	10,138	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
小学校サポート体制支援事業(一部)	教育総務課	1,300	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
中学校運営事業	教育総務課	47,882	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
中学校施設管理整備事業	教育総務課	18,781	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
中学校教育振興事業(一部)	教育総務課	11,431	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
中学校サポート体制支援事業(一部)	教育総務課	2,590	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
事務局運営事業(一部)【ALT派遣事業】	教育総務課	7,570	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		311,717			

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 最終目標(H26)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている <input checked="" type="radio"/> B 最終目標(H26)達成に向け、順調に成果があがっている <input type="radio"/> C このままでは、最終目標(H26)達成が難しい (説明) 児童・生徒の学力向上を目指し基礎・基本の学習に取り組んでいます。引き続き一人ひとりを大切に学習を進めていきたいと考えています。また、耐震化工事に関しては、学校施設耐震化計画によりほぼ順調に工事を施工しています。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input checked="" type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある <input type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある (説明) 児童・生徒が一日の大半を過ごす学校校舎の耐震化工事に関しては、東南海・南海地震防災対策推進計画に基づき大規模な地震の発生を予測して、学校施設耐震化計画を予定どおり施工していますが、学校施設の老朽化対策が必要になります。また、食物アレルギー対策をはじめ、地産地消等食育を推進する必要があります。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) 社会状況の変化に伴い、児童生徒の規範意識が低く基本的な生活習慣が乱れる傾向にあります。また、建築後30年以上経過している建物が多く施設の老朽化が進行しているが財源の確保が課題となっています。

4. 次年度の展開方針(部としての判断)

施策の方向性	[複数選択可] <input type="checkbox"/> 重点化して推進 <input type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()				
	(説明) 児童・生徒が将来を見据え、意欲的に学習に取り組むことができるよう、教育内容や教育環境の整備に努め、安全に教育を受けることができる環境を整えます。				
施策を構成する主要な事務事業の方向性	事務事業名	H24年度 決算 (単位:千円)	H25年度 予算 (単位:千円)	優先性	H26に向けた 経営資源(事業費)の 方向性
	小学校運営事業	89,131	97,000	3 普通	現状のまま
	小学校施設管理整備事業	61,336	98,387	5 最優先	拡大
	学校給食事業	61,558	66,600	3 普通	現状のまま
	小学校教育振興事業(一部)	10,138	12,797	3 普通	現状のまま
	小学校サポート体制支援事業(一部)	1,300	1,700	3 普通	現状のまま
	中学校運営事業	47,882	44,224	3 普通	現状のまま
	中学校施設管理整備事業	18,781	80,224	5 最優先	拡大
	中学校教育振興事業(一部)	11,431	5,817	2優先性が低い	縮小
	中学校サポート体制支援事業(一部)	2,590	4,158	5 最優先	拡大
	事務局運営事業(一部)[ALT派遣事業]	7,570	7,570	3 普通	現状のまま
	[新規]				
計	311,717	418,477			
内部評価のコメント	児童生徒の安全を確保するとともに、地域の避難所として、耐震補強工事を計画どおり実施できています。ALTを派遣することにより外国人に触れ合う機会も増え、国際感覚が養えるなど教育課程の充実を図っている。 いじめ・不登校対策については、目標値を下回っており、いじめ・不登校の情報を全教職員で共有し、指導の徹底を図る必要がある。				
外部評価委員のコメント	学校施設の耐震化を実施することで、安全・安心な教育環境が確保されることは児童・生徒にとっても、また、地域住民の避難所として安全が確保されたことは評価できる。 学校給食でのアレルギーを有する児童への対応が注目されており、「アレルギー対応指針」の作成や学校医との連携等の取組を望みます。				

施策評価シート(対象:H24年度実施施策)

施策名	特別支援教育の推進			総合計画位置づけ	2-1-3
部名	教育委員会	主担当課名	教育総務課	担当課名	-

1. 施策概要

めざす成果目的	学習障害(LD)、注意欠陥/多動性障害(ADHD)、広汎性発達障害(PDD)等も含めて、障害のある幼児・児童・生徒がいきいきとした学校生活を送り、一層の自立と社会参加を促す。
施策概要	幼児・児童・生徒に対して個々の発達に応じた適切な教育の推進。就学の支援。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	後期基本計画目標 H28年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
通級指導教室活用户数	人	8	9	10	11	12
		8				
特別支援教育コーディネーターの学校配置率	%	100	100	100	100	100
特別支援教育コーディネーターの小学校・中学校への配置率		100				
特別支援教育支援員の学校配置率	%	100	100	100	100	100
特別支援教育支援員の小学校・中学校への配置率		100				

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H24年度)

事務事業名	担当課名	H24年度事業費 (決算額)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
小学校教育振興事業(一部)	教育総務課	789	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
中学校教育振興事業(一部)	教育総務課	221	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
幼稚園運営事業(一部)	教育総務課	10,035	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
小学校サポート体制支援事業(一部)	教育総務課	9,615	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
中学校サポート体制支援事業(一部)	教育総務課	5,509	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		26,169			

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 最終目標(H26)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている <input checked="" type="radio"/> B 最終目標(H26)達成に向け、順調に成果があがっている <input type="radio"/> C このままでは、最終目標(H26)達成が難しい (説明) 田原本町就学指導委員会では、教育・医学・行政の専門家が検討し、総合的な判断を行っている。保護者にとって幼児・児童・生徒の障害の程度を基に適切な教育環境を考える判断材料となり、適正な就学につながっている。就学奨励費については、特別支援学級に在籍する児童・生徒に必要な経費の負担軽減に一定の成果を上げている。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある <input checked="" type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある (説明) 障害のある幼児・児童・生徒の適正な就学を推進するために、各分野の専門官から構成される就学指導委員会は重要な役割を果たすものである。また、就学奨励費については、保護者の経済的負担の軽減のため必要不可欠である。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) 一人ひとりの教育的ニーズを把握するなど、適切な指導及び必要な支援を行うための体制整備等が課題となっている。

4. 次年度の展開方針(部としての判断)

施策の方向性	(複数選択可) <input type="checkbox"/> 重点化して推進 <input type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()																																																																									
(説明)	障害のある子どもなど、特別な支援を要する幼児・児童・生徒の教育の充実を図ります。																																																																									
施策を構成する主要な事務事業の方向性	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事務事業名</th> <th>H24年度 決算 (単位:千円)</th> <th>H25年度 予算 (単位:千円)</th> <th>優先性</th> <th>H26に向けた 経営資源(事業費)の 方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校教育振興事業(一部)</td> <td>789</td> <td>1,301</td> <td>3 普通</td> <td>現状のまま</td> </tr> <tr> <td>中学校教育振興事業(一部)</td> <td>221</td> <td>412</td> <td>3 普通</td> <td>現状のまま</td> </tr> <tr> <td>幼稚園運営事業(一部)</td> <td>10,035</td> <td>12,795</td> <td>3 普通</td> <td>現状のまま</td> </tr> <tr> <td>小学校サポート体制支援事業(一部)</td> <td>9,615</td> <td>9,944</td> <td>3 普通</td> <td>現状のまま</td> </tr> <tr> <td>中学校サポート体制支援事業(一部)</td> <td>5,509</td> <td>5,935</td> <td>3 普通</td> <td>現状のまま</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>[新規]</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td>26,169</td> <td>30,387</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	事務事業名	H24年度 決算 (単位:千円)	H25年度 予算 (単位:千円)	優先性	H26に向けた 経営資源(事業費)の 方向性	小学校教育振興事業(一部)	789	1,301	3 普通	現状のまま	中学校教育振興事業(一部)	221	412	3 普通	現状のまま	幼稚園運営事業(一部)	10,035	12,795	3 普通	現状のまま	小学校サポート体制支援事業(一部)	9,615	9,944	3 普通	現状のまま	中学校サポート体制支援事業(一部)	5,509	5,935	3 普通	現状のまま																															[新規]					計	26,169	30,387					
事務事業名	H24年度 決算 (単位:千円)	H25年度 予算 (単位:千円)	優先性	H26に向けた 経営資源(事業費)の 方向性																																																																						
小学校教育振興事業(一部)	789	1,301	3 普通	現状のまま																																																																						
中学校教育振興事業(一部)	221	412	3 普通	現状のまま																																																																						
幼稚園運営事業(一部)	10,035	12,795	3 普通	現状のまま																																																																						
小学校サポート体制支援事業(一部)	9,615	9,944	3 普通	現状のまま																																																																						
中学校サポート体制支援事業(一部)	5,509	5,935	3 普通	現状のまま																																																																						
[新規]																																																																										
計	26,169	30,387																																																																								
内部評価のコメント	障害のある幼児・児童・生徒の就学先を判断するにあたり、就学指導委員会を開き、専門的分野からの相談・指導・調査・判定をし、関係機関とも連携をしながら適切な方向性を示し細かな指導をしました。																																																																									
外部評価委員のコメント	特別支援教育コーディネーター及びいじめ不登校対策・特別支援教育支援員の学校への配置は平成21年度より各校に配置され目標の100%を達成・維持をされていますが、特別な支援を必要とする児童生徒は増加傾向にあり、今後も支援の必要な状況に応じた複数配置を図るとともに、教員免許を保持する者や特別支援教育の経験者を優先的に任用することを希望します。																																																																									

施策評価シート(対象:H24年度実施施策)

施策名	学習体制の充実			総合計画位置づけ	2-2-1
部名	教育委員会	主担当課名	生涯教育課	担当課名	-

1. 施策概要

めざす成果目的	学びたい人が学びたい時に学べるよう、様々な学習の機会や情報を提供し、人と人との繋がりを広げるとともに、自己を向上させることで地域・町づくりに繋げる。
施策概要	各種教室・講演会・地区別懇談会等を開催して、様々な学習機会を提供する。また、子どもを対象とする教室を開催する。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	後期基本計画目標 H28年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
教室の開催数(公民館学習・放課後子ども教室・理科大好き教室等) (説明) 年間に開催した教室の数	回	300	300	300	300	300
		276				
子ども文化教室開催数 (説明) 年間の教室開催回数	回	59	59	59	59	59
		45				
子ども文化教室参加者数 (説明) 年間の参加者数	人	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
		1,023				

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H24年度)

事務事業名	担当課名	H24年度事業費 (決算額)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
公民館学習事業	生涯教育課	6,246	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
青少年健全育成推進事業	生涯教育課	9,588	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
人権教育指導事業	生涯教育課	3,859	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		19,693			

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 最終目標(H26)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている <input checked="" type="radio"/> B 最終目標(H26)達成に向け、順調に成果があがっている <input type="radio"/> C このままでは、最終目標(H26)達成が難しい (説明) 目標の目標達成に向け着実に成果が上げている。教室の開催内容等を精査して魅力のある教室等にすることで、今後、目標の達成は可能だと思われる。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある <input checked="" type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある (説明) 少子高齢化を反映して、教室の参加者も高齢化していく。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) 公民館学習では、参加者の固定化、高齢化が見られ、教室の参加者数が減少傾向にある。

4. 次年度の展開方針(部としての判断)

施策の方向性	[複数選択可] <input type="checkbox"/> 重点化して推進 <input checked="" type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input type="checkbox"/> その他 ()				
施策を構成する主要な事務事業の方向性	(説明) 公民館学習では、教室を3年間続けた者には、自主的なサークルへの移行を奨励し、活性化を図る。また、青少年健全育成では、学校・地域を含む全町をあげた取り組みを行う。				
	事務事業名	H24年度 決算 (単位:千円)	H25年度 予算 (単位:千円)	優先性	H26に向けた 経営資源(事業費)の 方向性
	公民館学習事業	6,246	7,759	3 普通	現状のまま
	青少年健全育成推進事業	9,588	10,879	3 普通	現状のまま
	人権教育指導事業	3,859	4,132	3 普通	現状のまま
	[新規]				
	計	19,693	22,770		
内部評価のコメント	教育環境の変化の中で、社会教育の中核的な場として、また、地域住民の教育や交流の場として公民館の果たす役割がますます注目されている中で、生涯学習のあり方を考えていく必要がある。				
外部評価委員のコメント	少子高齢化が叫ばれるなか、公民館学習は生涯学習の中核をなすもので、すべての住民が健康で文化的な生活をしていく上での糧となりうるように教室・講座の内容を工夫し、また、参加者の交流がまちづくりへと活かせるような仕組みを作っていただきたい。				

施策評価シート(対象:H24年度実施施策)

施策名	生涯学習環境の充実			総合計画位置づけ	2-2-2
部名	教育委員会	主担当課名	生涯教育課	担当課名	-

1. 施策概要

めざす成果目的	安全で快適に利用できる施設環境の充実を図ることにより、住民の学習活動が活性化する。
施策概要	田原本青垣生涯学習センターは、生涯学習施設として町民の方々に活用されており、安全・快適に利用できるように、環境整備を行う。また、学校の体育施設を学校教育に支障のない範囲において地域住民に開放する。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	後期基本計画目標 H28年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
公民館の利用件数	回	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
(説明) 年間の公民館の利用件数		2,330				
学校開放利用件数	件	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
(説明) 休日・夜間に小・中学校を住民に開放している年間件数		3,040				
(説明)						

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H24年度)

事務事業名	担当課名	H24年度事業費 (決算額)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
青垣生涯学習センター管理事業	生涯教育課	91,818	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		91,818			

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 最終目標(H26)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている <input checked="" type="radio"/> B 最終目標(H26)達成に向け、順調に成果があがっている <input type="radio"/> C このままでは、最終目標(H26)達成が難しい (説明) 年間の公民館利用件数は、目標に向けて順調に成果が上がっている。(H23年度2,203件)また、学校開放については、利用度が高く、目標に到達している。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある <input checked="" type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある (説明) 公民館は、町民の生涯学習の場として、多くの方々に利用されており、今後、更なる利用者の増が見込まれるので、施設環境等を損なわないように適切な維持管理を行う必要がある。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) 今後、施設等が老朽化していく中で、取り替え時期・故障する機器等が多く出てくるので、出来るだけコストを抑える工夫を行い、施設の維持管理を行うこと。

4. 次年度の展開方針(部としての判断)

施策の方向性	[複数選択可] <input checked="" type="checkbox"/> 重点化して推進 <input type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input type="checkbox"/> その他 ()				
施策を構成する主要な事務事業の方向性	(説明) 今後、施設等が老朽化していく中、できる限りコストを抑えて施設を良好な状態に保ちながら、便利で快適に利用できるように、維持管理等を行う。				
	事務事業名	H24年度 決算 (単位:千円)	H25年度 予算 (単位:千円)	優先性	H26に向けた 経営資源(事業費)の 方向性
	青垣生涯学習センター管理事業	91,818	92,766	4優先的に取り組む	現状のまま
	[新規]				
	計	91,818	92,766		
内部評価のコメント	来館者・利用者が安全かつ快適に利用できるよう管理運営を行い、コスト削減に努めることが必要である。				
外部評価委員のコメント	青垣生涯学習センターは、住民が生涯に亘って学習するための場を提供する施設として優れた機能を持っている。多くの住民の利用を得ているようですが、今後も住民が快適に学習できるよう、経費節減に努めながら、維持管理に努められたい。				

施策評価シート(対象:H24年度実施施策)

施策名	図書館事業の充実			総合計画位置づけ	2-2-3
部名	教育委員会	主担当課名	図書館	担当課名	-

1. 施策概要

めざす成果目的	町民が読書の楽しみを知り、趣味や生きがいを持って豊かなサービスが送れるように資料を提供し、自発的な学習の支援を行うと共に、地域の情報拠点としての図書館サービスの充実を図る。
施策概要	郷土資料を含む多種多様な分野の資料を収集し、蔵書の充実を図る。学校等との連携を図り、子どもの読書活動を推進する。各種講習会や広報活動を行い、利用の促進を図る。録音図書を作成、点字資料・大活字本の収集を行い、障害者サービスの充実を図る。多様なレファレンスに対応するため、資料に精通した職員の育成に努める。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	後期基本計画目標 H28年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
蔵書冊数	冊	178,972	183,972	188,972	193,972	198,972
		(説明) 年度末の蔵書冊数				
貸出冊数	冊	582,800	582,800	582,800	582,800	582,800
		(説明) 年間の個人・団体・相互総貸出数				
登録率	%	50	55	55	55	55
		(説明) 町民の図書館利用カード登録率				

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H24年度)

事務事業名	担当課名	H24年度事業費 (決算額)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
図書館収集提供事業	図書館	17,907	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
子ども読書活動推進事業	図書館	33	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
図書館利用促進事業	図書館	0	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
図書館運営管理事業	図書館	4,312	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		22,252			

3. 施策の分析

<p>達成度</p> <p>(目標の達成状況はどうか)</p>	<p><input type="radio"/> A 最終目標(H25)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている</p> <p><input checked="" type="radio"/> B 最終目標(H25)達成に向け、順調に成果があがっている</p> <p><input type="radio"/> C このままでは、最終目標(H25)達成が難しい</p> <p>(説明)</p> <p>町民の図書館利用カードの登録率は50パーセントを達成したが、貸出冊数が若干減少している。これは図書館システムの変更等により開館日が減ったことが大きな要因として挙げられる。利用者に向けては、図書館だよりや新刊案内、ホームページ等で安定したPR活動を行うことができた。また、管理面では図書館システムを変更することができ、利用者の利便性を向上することができた。</p>
<p>必要性</p> <p>(ニーズは今後どう変化するか)</p>	<p><input type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある</p> <p><input checked="" type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない</p> <p><input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある</p> <p>(説明) 図書館は生涯学習の重要な拠点であり、知的欲求を満たすことができる施設である。現在、社会事情や科学技術等が急速に変化しており、町民がこの変化に的確に対応するためにも、知識や情報が集まる図書館の必要性が増している。</p>
<p>施策を進める上での問題点・課題</p>	<p>(説明)</p> <p>社会情勢や科学技術等の変化に対応するため、利用者のニーズに応じられる体制を構成する必要がある。また、利用者が持っている疑問に対して調査し回答を行うレファレンスサービスにも力を入れ、図書館が利用者の問題を解決することができる有益な施設だと認識してもらうことが重要だと考える。</p>

4. 次年度の展開方針(部としての判断)

<p>施策の方向性</p>	<p>[複数選択可] <input checked="" type="checkbox"/> 重点化して推進 <input checked="" type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input type="checkbox"/> その他 ()</p> <p>(説明)</p> <p>蔵書においては、社会事情に即した本を購入し、利用者のニーズに対応できるような蔵書構成を目指す。子どもたちが安心して手に取れるよう、汚損や破損している児童書を買替える。レファレンスサービスによる課題解決を行い、図書館の有用性を高める。住民にとって有益な情報発信を行えるよう、各施設と連携していく。</p>																																																																							
<p>施策を構成する主要な事務事業の方向性</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事務事業名</th> <th>H24年度 決算 (単位:千円)</th> <th>H25年度 予算 (単位:千円)</th> <th>優先性</th> <th>H26に向けた 経営資源(事業費)の 方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図書館収集提供事業</td> <td>17,907</td> <td>18,363</td> <td>5 最優先</td> <td>現状のまま</td> </tr> <tr> <td>子ども読書活動推進事業</td> <td>33</td> <td>83</td> <td>3 普通</td> <td>現状のまま</td> </tr> <tr> <td>図書館利用促進事業</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3 普通</td> <td>現状のまま</td> </tr> <tr> <td>図書館運営管理事業</td> <td>4,312</td> <td>8,558</td> <td>3 普通</td> <td>現状のまま</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>[新規]</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td align="center">計</td> <td>22,252</td> <td>27,004</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	事務事業名	H24年度 決算 (単位:千円)	H25年度 予算 (単位:千円)	優先性	H26に向けた 経営資源(事業費)の 方向性	図書館収集提供事業	17,907	18,363	5 最優先	現状のまま	子ども読書活動推進事業	33	83	3 普通	現状のまま	図書館利用促進事業	0	0	3 普通	現状のまま	図書館運営管理事業	4,312	8,558	3 普通	現状のまま																																				[新規]					計	22,252	27,004			
事務事業名	H24年度 決算 (単位:千円)	H25年度 予算 (単位:千円)	優先性	H26に向けた 経営資源(事業費)の 方向性																																																																				
図書館収集提供事業	17,907	18,363	5 最優先	現状のまま																																																																				
子ども読書活動推進事業	33	83	3 普通	現状のまま																																																																				
図書館利用促進事業	0	0	3 普通	現状のまま																																																																				
図書館運営管理事業	4,312	8,558	3 普通	現状のまま																																																																				
[新規]																																																																								
計	22,252	27,004																																																																						
<p>内部評価のコメント</p>	<p>登録率は目標値を超え、蔵書数は前年度並みとなっており、目標はほぼ達成している。来年度は、現在登録されている町民に繰り返し来館してもらえるように、蔵書を増加し、貸出数をさらに増やせるよう心がけたい。</p>																																																																							
<p>外部評価委員のコメント</p>	<p>図書館システムの変更作業に伴い、開館日数が減ったことによる貸出冊数の減少がみられるが、蔵書数、登録率は順調に増えていて、事業の効果が認められる。利用者にとって社会の多様なニーズに対応した施設になるよう、さらに努めていただきたい。</p>																																																																							

施策評価シート(対象:H24年度実施施策)

施策名	文化活動の促進			総合計画位置づけ	2-2-4
部名	教育委員会	主担当課名	生涯教育課	担当課名	-

1. 施策概要

めざす成果目的	弥生の里ホールの利用促進を図り、住民が多様な文化・芸術に触れられる機会を提供する。
施策概要	弥生の里ホールでは、質の高いイベントを開催する。また、文化団体や社会教育関係団体の文化に関わる活動を支援し、日頃の文化活動の発表の場として文化祭を開催する。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	後期基本計画目標 H28年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
弥生の里ホール利用件数	件	240	240	240	240	240
(説明) 年間の利用件数		229				
(説明)						
(説明)	件					

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H24年度)

事務事業名	担当課名	H24年度事業費 (決算額)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
文化活動推進事業	生涯教育課	2,764	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
弥生の里ホール運営事業	生涯教育課	4,482	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		7,246			

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 最終目標(H26)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている <input checked="" type="radio"/> B 最終目標(H26)達成に向け、順調に成果があがっている <input type="radio"/> C このままでは、最終目標(H26)達成が難しい (説明) 指標の目標に向け順調に成果が上がっている。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある <input checked="" type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある (説明) 近年、心の豊かさや生きがい、生活の潤いなどが重視され、町民の文化、芸術への関心が高まっており、今後も町民のニーズに対応した多様な事業を展開する。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) 文化祭も定着し、多くの方から作品を出展していただいている。出品数が多数あるため管理方法や、展示スペースの工夫が必要である。また、ホールでの自主事業開催のあり方や住民への周知の方法を工夫することが課題である。

4. 次年度の展開方針(部としての判断)

施策の方向性	〔複数選択可〕 <input type="checkbox"/> 重点化して推進 <input checked="" type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input type="checkbox"/> その他 () (説明) 文化祭については、より一層の充実を図り、自主事業については、住民の方に楽しんでいただけるものを企画し、文化の向上を図る。				
施策を構成する主要な事務事業の方向性	事務事業名	H24年度 決算 (単位:千円)	H25年度 予算 (単位:千円)	優先性	H26に向けた 経営資源(事業費)の 方向性
	文化活動推進事業	2,764	2,978	3 普通	現状のまま
	弥生の里ホール運営事業	4,482	5,112	3 普通	現状のまま
	[新規]				
	計	7,246	8,090		
内部評価のコメント	文化祭は、文化団体だけでなく、他の住民の方についても文化活動の発表の場となるよう啓発を行っていく必要がある。また、自主事業については、限られた財源の中でいかに多くの方に楽しんで参加をしていただける企画をするかが課題である。				
外部評価委員のコメント	住民が、日頃の学習成果を発表する場として、文化祭は成果を上げているが、弥生の里ホールで行われる自主事業については、より一層の工夫をされ、文化振興に努められたい。				

施策評価シート(対象:H24年度実施施策)

施策名	スポーツに親しむ環境の整備	総合計画位置づけ	2-3-1
部名	教育委員会	主担当課名	生涯教育課
		担当課名	-

1. 施策概要

めざす 成果目的	体育施設の維持管理に努め、住民が身近な地域で安全にスポーツが行えるようにする。
施策概要	住民のスポーツ活動の拠点として、各体育館・健民運動場及びテニスコート等の環境の整備を行う。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	後期基本計画目標 H28年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
体育館利用件数	件	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
(説明) 中央体育館、やすらぎ体育館 の年間利用件数		2,482				
テニスコート利用件数	件	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
(説明) テニスコートの年間利用件数		1,371				
健民運動場利用件数	件	250	250	250	250	250
(説明) 健民運動場の年間利用件数		255				

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H24年度)

事務事業名	担当課名	H24年度事業費 (決算額)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
体育施設管理事業	生涯教育課	73,228	A:高い(義務)	B:概ね目標の成 果が得られた	B:見直す余地が あるが時間が必要
計		73,228			

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	○ A 最終目標(H26)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている ● B 最終目標(H26)達成に向け、順調に成果があがっている ○ C このままでは、最終目標(H26)達成が難しい (説明) 各体育館やテニスコート、健民運動場などの維持・管理の適正化により、利用の目標はほぼ達成できた。(改修工事のためテニスコートは1カ月間、中央体育館アリーナは4カ月間を使用禁止とした)
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	○ A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある ● B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない ○ C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある (説明) 町民の余暇時間の増大やスポーツに対する意識の高揚、又、新しいレクリエーションスポーツの増加に伴い、それに対応した施設の整備が必要となる。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) 健康増進のため高齢者のスポーツ人口の増加と共に、スポーツ活動に関わる町民のニーズが多様化している中で、スポーツ施設の充実が必要となる。

4. 次年度の展開方針(部としての判断)

施策の方向性	[複数選択可] <input type="checkbox"/> 重点化して推進 <input checked="" type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input type="checkbox"/> その他 ()				
	(説明) 住民が身近な地域で安全にスポーツが行えるよう、体育施設の維持管理に努める。				
施策を構成する主要な事務事業の方向性	事務事業名	H24年度 決算 (単位:千円)	H25年度 予算 (単位:千円)	優先性	H26に向けた 経営資源(事業費)の 方向性
	体育施設管理事業	73,228	23,253	3 普通	現状のまま
	[新規]				
	計	73,228	23,253		
内部評価のコメント	体育施設の老朽化に伴い、利用者との調整を行いながら、順次補修を行う必要がある。				
外部評価委員のコメント	住民が、安心してスポーツが行えるよう各体育館やテニスコートなど、施設の維持管理に努められたい。				

施策評価シート(対象:H24年度実施施策)

施策名	スポーツ・レクリエーション活動の普及・啓発	総合計画位置づけ	2-3-2
部名	教育委員会	主担当課名	生涯教育課
		担当課名	-

1. 施策概要

めざす成果目的	子どもから高齢者まで幅広い年齢層の住民が、多種多様なスポーツに親しめるよう、関係機関と連携し、気軽にスポーツ・レクリエーション活動に参加できるようにする。
施策概要	卓球やバドミントン等のスポーツ教室の開催や春・秋の総合競技大会、町民マラソン・駅伝大会を開催する。また、親子バレーボール大会や歩こう会を開催し、体育協会、スポーツ少年団への助成を行う。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	後期基本計画目標 H28年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
スポーツ教室開催数	回	250	250	250	250	250
(説明) テニス・ソフトテニス・ジュニア サッカー・バドミントン・卓球等		279				
健康スポーツの集い開催数	回	3	3	3	3	3
(説明) 誰でもが参加できる健康ス ポーツの集いの年間開催回数		2				
健康スポーツの集い参加者数	人	80	80	80	80	80
(説明) 健康スポーツの集いの参加者 合計人数		138				

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H24年度)

事務事業名	担当課名	H24年度事業費 (決算額)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
社会体育振興事業	生涯教育課	3,806	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
スポーツ教室開催事業	生涯教育課	1,506	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
春・秋総合競技大会開催事業	生涯教育課	2,234	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
マラソン・駅伝大会開催事業	生涯教育課	917	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		8,463			

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 最終目標(H26)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている <input checked="" type="radio"/> B 最終目標(H26)達成に向け、順調に成果があがっている <input type="radio"/> C このままでは、最終目標(H26)達成が難しい
	(説明) スポーツ教室の開催数、健康スポーツの集いの参加者数については、指標目標は達成している。健康スポーツ集いの開催数を増すことは可能だと思われる。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある <input checked="" type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある
	(説明) 参加者・利用者数は、ここ数年あまり変化はないが、少子高齢化の影響もあり、健康志向が強くなってきている。スポーツに関しては、競技スポーツからウォーキングなど誰でも参加できるスポーツやレクリエーションを取り入れた運動の要求が高まっている。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) 参加者・利用者が固定化傾向にあるので、新たな参加者をどのようにして増やしていくかが課題である。

4. 次年度の展開方針(部としての判断)

施策の方向性	〔複数選択可〕 <input type="checkbox"/> 重点化して推進 <input checked="" type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input type="checkbox"/> その他 ()				
	(説明) スポーツ教室、競技大会、町民マラソン・駅伝大会、歩こう会などの開催を継続的に行い、スポーツを通じた住民の健康増進を進める。				
施策を構成する主要な事務事業の方向性	事務事業名	H24年度 決算 (単位:千円)	H25年度 予算 (単位:千円)	優先性	H26に向けた 経営資源(事業費)の 方向性
	社会体育振興事業	3,806	4,959	3 普通	現状のまま
	スポーツ教室開催事業	1,506	1,345	3 普通	現状のまま
	春・秋総合競技大会開催事業	2,234	2,293	3 普通	現状のまま
	マラソン・駅伝大会開催事業	917	938	3 普通	現状のまま
	[新規]				
	計	8,463	9,535		
内部評価のコメント	住民の各自がそれぞれに応じたスポーツを見つけ、継続的に実践していただくために、スポーツ教室やイベントなどを開催し、多様なスポーツの機会の提供に努める必要がある。				
外部評価委員のコメント	体力や健康の維持増進を目指し、毎日体操やウォーキングをしている方が増えている。このような健康志向の高まりをより促進させるため誰もが参加できるスポーツ教室や大会の開催を工夫していただきたい。				

施策評価シート(対象:H24年度実施施策)

施策名	文化財保護事業			総合計画位置づけ	2-4-1
部名	教育委員会	主担当課名	文化財保存課	担当課名	-

1. 施策概要

めざす 成果目的	文化財保護の精神と認識を深め、国・県指定の史跡地も含め後世まで貴重な財産を残す。
施策概要	唐古・鍵遺跡と黒田大塚古墳内の公有地の管理。史跡の現状変更等、進達業務。国・県・町指定文化財所有者に防犯、防災の指導。

2. 実施結果

指標名 説明	単 位	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	後期基本計画目標 H28年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
指定文化財等の見回り・点 検回数(回)	回/ 年	30	36	36	36	36
		(説明) 指定文化財等が適切な状態 であるかの見回り年間回数	52	—	—	—
町文化財指定件数(累計)	件/ 年	6	6	7	7	8
		(説明) 町が指定する文化財累計件 数	6	—	—	—
(説明)			—	—	—	—

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H24年度)

事務事業名	担当課名	H24年度事業費 (決算額)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
文化財保護事業	文化財保存課	11,514	A:高い(義務)	B:概ね目標の成 果が得られた	B:見直す余地が あるが時間が必要
計		11,514			

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 最終目標(H26)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている <input checked="" type="radio"/> B 最終目標(H26)達成に向け、順調に成果があがっている <input type="radio"/> C このままでは、最終目標(H25)達成が難しい (説明)見回り回数に関しては、遺跡での発掘があった際にも見回りを実施したため数値が増となった。唐古・鍵遺跡や黒田大塚古墳は、見回り時に不具合があった箇所の修理をした。その他指定文化財については、消防署と連携し、各管理者に対し防犯・防災の指導を行った。特に本年度においては、文化財防火デーに合わせ、警察・地元消防団・寺関係者・消防署と共に消防訓練を実施することができた。また、町指定文化財として、審議会を開催し1件指定することができた。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある <input checked="" type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある (説明)後世に、本町の財産を残し伝えていくため、また、遺跡に来られた人達が安全に見学いただけるよう文化財の維持管理には注意を払っていく必要がある。
施策を進める上での問題点・課題	(説明)指定文化財の管理者が、常駐・固定の場合は、特に問題ないが、大字での管理のように、管理者(代表者)が変更されていく場合は、文化財の防犯・防災の意識を認識していただかなければならない。

4. 次年度の展開方針(部としての判断)

施策の方向性	(複数選択可) <input type="checkbox"/> 重点化して推進 <input type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input type="checkbox"/> その他 () (説明)文化財を大切に守り、後世に残していくためにも管理者や住民とともに防犯・防災の意識を高めていく。																																																							
施策を構成する主要な事務事業の方向性	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事務事業名</th> <th>H24年度決算 (単位:千円)</th> <th>H25年度予算 (単位:千円)</th> <th>優先性</th> <th>H26に向けた経営資源(事業費)の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文化財保護事業</td> <td>11,514</td> <td>10,701</td> <td>3 普通</td> <td>現状のまま</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>【新規】</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td>11,514</td> <td>10,701</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	事務事業名	H24年度決算 (単位:千円)	H25年度予算 (単位:千円)	優先性	H26に向けた経営資源(事業費)の方向性	文化財保護事業	11,514	10,701	3 普通	現状のまま																															【新規】										計	11,514	10,701		
事務事業名	H24年度決算 (単位:千円)	H25年度予算 (単位:千円)	優先性	H26に向けた経営資源(事業費)の方向性																																																				
文化財保護事業	11,514	10,701	3 普通	現状のまま																																																				
【新規】																																																								
計	11,514	10,701																																																						
内部評価のコメント	町の貴重な文化的遺産を後世に伝えるため、町として文化財指定できる物件について調査を進めていく。また文化財の防犯・防災について、様々な方法により啓発活動を推進する。																																																							
外部評価委員のコメント	田原本町、ひいては日本の財産となる文化財を維持、管理、保存することは、行政としても重要な責務であるので継続をしていただきたい。																																																							

施策評価シート(対象:H24年度実施施策)

施策名	唐古・鍵考古学ミュージアム運営事業	総合計画位置づけ	2-4-2
部名	教育委員会	主担当課名	文化財保存課
		担当課名	—

1. 施策概要

めざす成果目的	ミュージアムの来館者が快適に観覧できるようにする。また、文化財に対する理解・愛着を深め、学習意欲・愛護精神を育成する。
施策概要	ミュージアムの適切な管理や受付業務を行う。イベントや企画展、講座等を開催し、情報発信を行う。また、小学校の総合的な学習など学校の支援をする。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	後期基本計画目標 H28年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
唐古・鍵考古学ミュージアム入館者数(人)	人/年	7,600	7,500	7,500	7,500	7,500
(説明) 常設展・企画展の年間入館者数		8,849	—	—	—	—
総合的な学習 項目別実施回数(回)	回/年	15	23	23	23	23
(説明) 町内小学校6年生を対象とした総合的な学習授業項目数の年間合計		26	—	—	—	—
唐古・鍵考古学ミュージアムのホームページアクセス件数(件)	件/年	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
(説明) HP年間アクセス件数		16,247	—	—	—	—

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H24年度)

事務事業名	担当課名	H24年度事業費 (決算額)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
唐古・鍵考古学ミュージアム運営事業	文化財保存課	5,818	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		5,818			

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 最終目標(H26)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている <input checked="" type="radio"/> B 最終目標(H26)達成に向け、順調に成果があがっている <input type="radio"/> C このままでは、最終目標(H25)達成が難しい (説明) 家庭での夏の節電対策とともに、ミュージアムや文化財に親しんでもらうよう観覧無料期間を設けたことにより、多くの観覧者が来られたため目標を上回った。小学校の総合的な学習の時間における体験学習も、ボランティアのサポート体制が整い、軌道に乗っている。目標数値は、以前出前授業のみを設定していたが、ミュージアムの見学と体験学習をセットしたことにより、項目増のため数値を上回っている。HPアクセス件数も、目標値を上回っている。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある <input checked="" type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある (説明) 文化財が町の財産であるということをより多くの人々に認識してもらうためにも、この事業は重要である。その中で、ミュージアム来館者の多様なニーズに応えられる展示・研究成果の発表について考慮していく必要がある。また、文化財の啓発も重要である。町内の子ども達には、各小学校で実施している総合的な学習の時間を利用して、自分たちの住んでいる町の歴史について体験を通じ学ぶ良い機会になる。
施策を進める上での問題点・課題	(説明)ミュージアムの存在について、周知できていない部分もあり、また、来館してもらう仕掛けをどのようにおこなうかが課題である。また、町所有文化財をより多く展示できるよう工夫する必要がある。体験学習等の一部メニューについて、児童数の関係や学校周辺の環境により実施できなくなっている場合もあるため、それぞれに合った対応が必要になってきている。

4. 次年度の展開方針(部としての判断)

施策の方向性	[複数選択可] <input type="checkbox"/> 重点化して推進 <input type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input type="checkbox"/> その他 ()				
施策を進める上での問題点・課題	(説明)ミュージアムに関して、いろいろな形でサポートしていただいているボランティアについて、メンバーの支援や育成に努めていきたい。また、ミュージアムにより多くの人々が来てもらえるような企画を考えていく。				
施策を構成する主要な事務事業の方向性	事務事業名	H24年度 決算 (単位:千円)	H25年度 予算 (単位:千円)	優先性	H26に向けた 経営資源(事業費)の 方向性
	唐古・鍵考古学ミュージアム運営事業	5,818	5,849	3 普通	現状のまま
【新規】					
計	5,818	5,849			
内部評価のコメント	文化財愛護精神の育成は、目にみえた形で表すことが困難であるが、小学校での体験学習は有効性が高いと思われ、ボランティア組織とともに取り組む必要がある。				
外部評価委員のコメント	田原本町において唯一、文化財の情報を発信、啓発できる施設であるためミュージアムを地域のコミュニケーションや教育に活用していただきたい。				